



## 監督者会議 資料

### 1. 競技について

- (1) 本競技会は、2011年度(財)日本水泳連盟競泳競技規則に則り実施する。
- (2) 競技は予選10コース、決勝は8コース（タイムレース決勝は最終組のみ）で行い、進行は、タイムスケジュール通りに行う。組合せは、監督者会議終了後に『デッキシーディング制』で行う。
- (3) 予選と決勝を行う。また、男女800m自由形・1500m自由形はタイムレース決勝（最終組は決勝時に行う）とする。
- (4) 決勝は、予選の結果上位8名が出場できる。ただし棄権者が出た時は、次点上位より順次出場権を与える。
- (5) 決勝進出について、同記録で予定人員を超えた場合は、スイムオフを行う。
- (6) 補欠が同記録で複数いる場合は、抽選を行う。補欠は決勝2名とする。
- (7) 外国籍の競技者は予選のみ出場することができる。外国籍選手は、監督者会議後に申告すること。
- (8) 招集は競技開始20分前から行う。本人確認のため招集所には、ADカードを持参すること。招集所で水着の確認を行う。
- (9) 予選を棄権する場合は、所定の用紙に記入し、当該競技開始1時間前までに招集所に届け出ること。無断で棄権した場合は、罰金3,000円を徴収する。決勝を棄権することは出来ない。やむなく棄権する場合は、その予選・準決勝競技終了後1時間以内に棄権料3,000円を添えて届け出ること。  
タイムレース競技の棄権は、競技実施日の午前9時30分までに届け出ること。
- (10) 800m・1500m自由形における周回通知は、水中ラップカウンターを使用しコールは行わない。
- (11) 公式計時SEIKOによる計時バックアップは、水中バックアップシステムを使用する。
- (12) ゴールタッチはタッチ板の有効面に確実にタッチすること。
- (13) 競技成立後は、折返し監察員の指示によりプール横から退水すること。但し、決勝1位の選手は、自分のコースから退水し、ただちにフラッシュインタビューを受けること。
- (14) 予選は組のみの紹介、決勝は入場ゲートでコース紹介を行う。
- (15) 本大会は、上訴審判団を設置する。

### 2. 表彰について

- (1) 表彰は、行わない。
- (2) IDカードによる記録認定証の発行は、更衣室入口前で行う。  
記録証の発行時間 予選競技開始～予選終了後1時間、決勝競技開始～決勝終了後30分

### 3. 全体スケジュール

日時	開門時刻	予選競技開始時刻	予選競技終了予定	決勝競技開始時刻	決勝競技終了予定	閉門時刻(予定)
4月8日(金)公式練習日	11時00分	公式練習(11時～18時)				18時15分
4月9日(土)～11日(月)	7時15分	9時00分	12時～13時	16時00分	18時00分	18時45分

## 4. プールの使用について

### (1) メインプール

- ①水温は27.5度に設定する。
- ②練習は競技開始15分前までとする。
- ③昼休みの練習は、決勝競技開始前2時間に限り、当日の決勝出場者およびタイムレース決勝最終組のみとする。
- ④9コースは、ペースコースとする。
- ⑤1・10コースは、ダッシュコースとする。但し、1コースはスタート側からスタート、10コースは、折返し側からスタートとし、一方通行とする。
- ⑥ダッシュコースの代理人による順番待ちは禁止する。
- ⑦公式スタート練習は、8時30分～9時45分の間に行う。  
※公式練習日4月4日(月)は、16時00分～17時00分の間に行う。

### (2) サブプール

- ①1コース・2コースは、ダッシュコースとする。
- ②6コースは、ペースコースとする。

## 5. 水泳場の使用について

- (1) 監督・コーチ・選手の入退場は1階とする。
- (2) 選手席・付添席は、サブプールプールサイドおよびダイビングプール側のスタンド席を用意する。導線を守ること。
- (3) 「競技会場における商業ロゴマーク等についての取り扱い規定」を厳守すること。
- (4) 選手・付添いエリアには、一般は入ることは出来ない。
- (5) ADカードは、館内にいる時は常時首からさげていること。また、入退場に際しては、必ずADカードを提示して係員の指示に従うこと。
- (6) 更衣室のロッカーは、競技終了後は、毎日荷物を持ち帰ること。  
※置き荷物は、忘れ物として扱う。また、全日程終了後、残った忘れ物は処分する。

## 6. 注意事項、その他

- (1) 選手は、ウォーターサーバーによるサービスを受けることができる。(ボトルは各自で持参すること。)
- (2) 全ての競技者は競技終了後、予選・決勝・タイムレース決勝を問わずミックスゾーンを通り退場すること。
- (3) 決勝競技終了後、すべての優勝者に対し、フラッシュインタビューを実施する。
- (4) サブプールにリザルトモニターを設置する。
- (5) 公式掲示板を、更衣室入口付近に設ける。
- (6) 盗難防止のための貴重品の保管については各選手の責任において管理すること。
- (7) スタートリストを販売する。予選200円、決勝100円。
- (8) NHK(総合テレビ・BS1)にてテレビ放映を行う。  
※1日目・2日目はBS1生放送、3日目はBS1収録放送。
- (9) 競技結果を、以下の公式サイトにて確認することができる。  
SEIKO競泳リザルト速報サービス (<http://swim.seiko.co.jp/>)  
日本水泳連盟公認モバイルサイト「スイムレコードモバイル」(<http://j-swim.jp/>)

以上



## 監督者会議 式次第

日 時：平成23年4月8日（金） 午後3時  
 場 所：浜松市西部清掃工場会議室  
 司会進行：藤森 克悦  
 （（財）日本水泳連盟 競技委員）

- |            |                                  |        |
|------------|----------------------------------|--------|
| 1. 挨拶      | 財団法人日本水泳連盟 会長                    | 佐野 和夫  |
| 2. 開催地挨拶   | 浜松市                              |        |
| 3. 主管団体挨拶  | 静岡県水泳連盟 会長                       | 宮城島 安宏 |
| 4. 選手選考    | 財団法人日本水泳連盟 常務理事                  | 上野 広治  |
| 5. 競技関係    | 財団法人日本水泳連盟 常務理事待遇<br>代表選手選考会 審判長 | 鈴木 浩二  |
| 6. ドーピング検査 | 財団法人日本水泳連盟 ドーピング監察員              | 辻本 昌史  |
| 7. 棄権者の届出  | 財団法人日本水泳連盟 競技委員                  | 三友 礼人  |
| 8. 義援金活動   | 財団法人日本水泳連盟 常務理事                  | 安部 喜方  |
| 9. 環境問題    | 財団法人日本水泳連盟 広報委員                  | 原田 由梨  |
| 10. 質疑応答   |                                  |        |